

# 名前の秘密シート

## 1. 漆の作品の名前

### ① 漆の色

朱漆: 下地の色が赤い漆の工芸品のことで、赤い色は朱とよばれる顔料と漆を混ぜてつくられます。

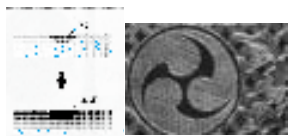
黒漆: 下地が黒い漆の工芸品です。黒い色は漆に鉄分を混ぜてつくられます。

### ② 文様

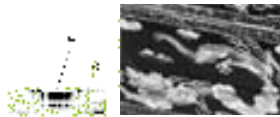
模様は植物や動物や中国の風景などがあります。模様シートからどんなものがあるか探してみましょう。

### ③ 飾り付けの技法

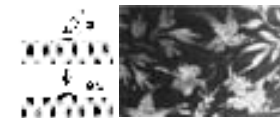
飾り付けの技法は沈金、箔絵、螺鈿、密陀絵、堆錦の五つの技法があります。



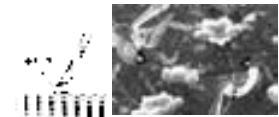
**沈金**  
器面に文様を彫って漆を擦りこむ。乾かぬうちに文様に金箔・金粉を押しこんでふき取り、金色の文様を表す。



**螺鈿**  
夜光貝などの貝殻を摺り減らして厚みを整えたものを文様の形に切り、器面に貼って漆を塗りこめ、文様を研ぎ出す。



**箔絵**  
器面に漆で文様や絵を描き、金箔を貼りつけて余分な箔をふき取る。上から黒漆などで加筆することもある。








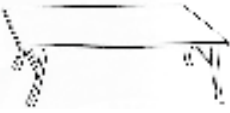


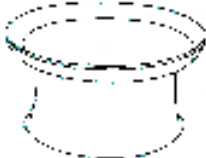

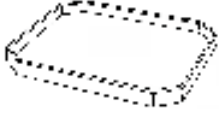


**密陀絵**  
油で練った色絵具(顔料)を筆につけて絵や文様を描く。漆に色絵具を混ぜて描くと「漆絵」という。



**堆錦**  
漆に色絵具(顔料)を混ぜ、叩き伸ばして「堆錦餅」をつくる。これを文様の形に切ったり型押しし、器面に貼る。

(『すぐわかる沖縄の美術』より)

### ④ 作品の形

<p>まるぼん 丸盆</p> 	<p>わん 椀</p> 	<p>なつめ 棗</p> 	<p>さら 皿</p> 
<p>すずりばこ 硯箱</p> 	<p>つくえ 机</p> 	<p>じゅうばこ 重箱</p> 	<p>ちゅうおうじよく 中央卓</p> 
<p>あしつきぼん 足付盆</p> 	<p>じきろう 飯籠</p> 	<p>ぜん 膳</p> 	<p>タークー 湯庫</p> 
<p>ウクファン 御供飯</p> 			

(『日本美術図解事典』『館蔵]琉球漆芸]浦添市美術館より)

## 模様シート

沖縄の模様は植物、動物、身近な道具、風や水の流れを表したもの、中国の風景を表した山水、建物、船、牛車、空想上の動物である龍や鳳凰など様々なものがあります。この模様シートには代表的な模様をのせましたが、もっと多くの模様があります。みんなでも様々な模様を見つけて、自分たちでも模様の名前を付けてみましょう。

### 植物



桜(さくら)



垂れ桜(しだれさくら)



藤(ふじ)



牡丹(ぼたん)



紫陽花(あじさい)



杜若(かきつばた)



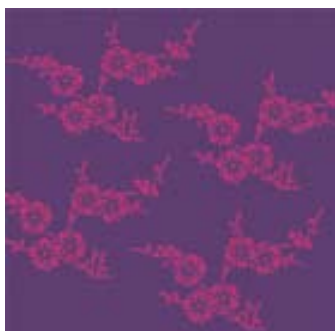
菊(きく)



楓(かえで)



銀杏(いちょう)



梅(うめ)



松(まつ)



松(まつ)



竹(たけ)



橘(たちばな)



葡萄(ぶどう)



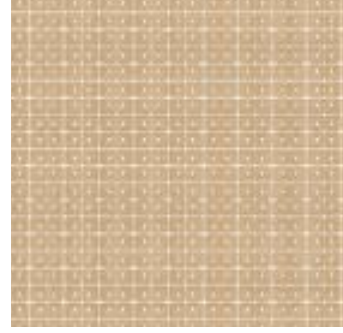
## 自然現象



波 (なみ)



流水 (りゅうすい)



雷 (かみなり)



雪 (ゆき)



雲 (くも)



雲 (くも)

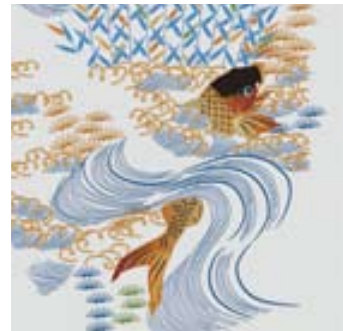
## 動物



鴛鴦 (おしどり)



雀 (すずめ)



鯉 (こい)



鶴 (つる)



龍 (りゅう)



亀 (かめ)

## II. 織物と紅型の名前

沖縄には色の付いた糸を織った織物と織った後に色を染める紅型があります。

### ①素材

ばしよ

芭蕉：芭蕉の繊維を使ってつくられた糸です。軽やかで涼しそうな感じがします。

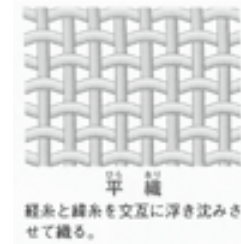
絹：絹は、カイコがサナギになるときにつくり出す糸です。色が鮮やかで光沢があります。

木綿：木綿は、ワタの木からつくられた糸です。色がよく染まります。また、木綿の着物は暖いので冬の着物によく使われます。

### ②色

色には茶色地、真っ赤な朱地、少し黄色みがかかった赤色の緋色地、黄色地、濃い青色の紺地、水色地、水色よりも薄い浅地、色を染めない白地などがあります。

### ③織の技法



平織：平織は経糸と緯糸を交互に組み合わせて布を織ります。平織では次のような模様を織ることが出来ます。

a. カスリ：模様になる部分を染まらないようにして糸を染めて、織られた織物。

b. テジマ：格子模様にかスリ模様を組み合わせた模様。

c. アヤノナーカ：縞模様の間にカスリ模様を合わせた模様。

d. ムルドウチリ：大きなカスリ模様だけで織られた着物。

花織：花織は糸を浮かせて立体的に模様を織る技法です。また、花織は織られる場所によって技法が変わり、沖縄県各地には首里の首里花織、読谷の読谷山花織、与那国の板花織などがあります。

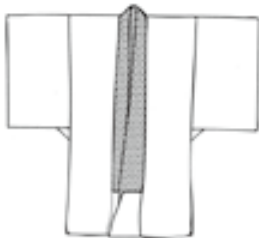


### ④着物の形



ウチュクイ (風呂敷)

上衣・衣装



胴衣 (ドウジン)



ミンサー (帯)

### ⑤模様

模様は植物や動物、中国の風景などがあります。模様シートからどんなものがあるか探してみましょう。

なるほど!! わかったわ!  
いろいろな模様があるのネ。



(『すぐわかる沖縄の美術』より)